

V210b Hyper Suprime-Cam Legacy Archive

田中賢幸 (国立天文台), 村田一心 (国立天文台), 峯尾聡吾 (国立天文台), 小池美知太郎 (国立天文台), 原沢寿美子 (国立天文台), 池田浩之 (和歌山高専), 瀧田怜 (東京大学), ほか HSC チーム

すばる望遠鏡では 2014 年から Hyper Suprime-Cam (HSC) が稼働している。HSC 観測時間の大きな割合を割いて、すばる戦略枠プログラムが現在も進行中だが、それ以外の観測時間は一般共同利用観測に充てられている。一般共同利用観測のデータも当然高い科学的価値を有するため、戦略枠データと同様に一括で処理・公開すれば HSC のデータをさらに活用できる。そこで国立天文台では、サイエンスにすぐに使えるデータを公開する計画、HSC Legacy Archive (HSCLA) を推進している。本発表では、2020 年末に公開の HSC 科学運用初年 (2014 年) の解析データを紹介する。戦略枠プログラムで用いているデータ取得ツール一式をオンラインで公開し、巨大なカタログデータから画像データまで容易に取得できるようなシステムになっている。HSCLA の全体的なスコープから、データ解析の内容、さらには今後の目標まで議論したい。